

将来を見据えた若い世代との交流

地域「コミュニティ」を結び直すところから

住民自治の将来を見据えたとき、若い世代の参画や人材発掘による自治運営の担い手育成が課題となります。今回紹介する床尾の里てらさか(寺坂地区)と、とよおかコミュニティ31(豊岡地区)は、地区の立地や人口規模、構成する行政区数は違うものの、若い世代との関わりを大切にしたいという姿が共通しており、意見交換や交流に取り組んでいます。

《問合せ》コミュニティ政策課 ☎21-9020



①コミュニティ祭(寺坂地区) ②各区青壮年会との交流会(寺坂地区)
③働き盛り「私たちの「まちづくり」を語る」夕べ(豊岡地区) ④とよおかコミュニティ31フェスティバル(豊岡地区)

地区の活気と面白さを 取り戻したい!(寺坂)

寺坂地区には、古くから区を越えた住民同士のつながりがあります。しかし、住民同士のつながりが希薄になり、かつてのようになぎわいが失われたと感じた「床尾の里てらさか」では、各区の青壮年会を対象に交流会を行っています。3回目の平成30年12月8日には24人が参加し、会食をしながら意見交換をしました。若い世代からは「とにかくみんな忙しい。文化祭の練習は毎晩大変」「20年後のことを考えた方が良い」「女性も一緒に今後のことを考えては」「今年初めて開催した「コミュニティ祭」は良かった」など、生の声を聞くことができました。

「良いことをすれば人は寄ってくる。その中で人が集まる空気やコミュニケーションを大事にしたい」と話す地域振興

部会長の山田博文さん。「地区公民館から地域コミュニティになったのは良い機会。おじさんが頑張れば、若い人が付いてくる。若い人たちと地区を面白くしたい」と交流会を通じて若い世代を巻き込む手ごたえを感じた様子でした。

まずは取組みを知って もらうことから!(豊岡)

豊岡地区は、31区で構成されており、市内で一番多くの行政区を抱えています。しかし、コミュニティへの関心が低いいため、活動に多様な主体の参画がみられません。また、市の中心市街地に位置しますが、少子化・高齢化に伴い、区単位での日役や子ども会活動ができず、隣接する区と合同での開催が見られるようになりまし。こうした状況を受け「とよおかコミュニティ31」では、地区の将来について、次世代を担う若い世代から意見を募ろうと、30歳代を対象に平成30年12月20日、働き盛り「私たちのまちづくりを語る」夕べを開催し、18人が参加しました。「地区の取組みを紹介してもらっ

たが、いろいろな活動をして

たが、いろいろな活動をして、いろいろを初めて知った」など、若い人たちの思いを把握することができました。

同会長の芝地邦彦さんは「若い人たちとの関わりが重要だが、今回、地域コミュニティの取組みが知られていないことが分かった。まずは地域コミュニティに関心を持ってもらうことが重要。今後いろいろな機会を通じて輪を広げたい」と語りました。

地域「コミュニティ」を 結び直すところから

意見交換の場を持つことや、取組みを知ってもらうことは、地域の中でつながりを深めることで「地域コミュニティを結び直すこと」といえます。寺坂地区では「イルミネーションをやってみよう」とか、豊岡地区では「かばん製作など、さまざまな体験ができる」と面白いかもといった声も聞こえました。このように地域コミュニティを結び直すことで、地域の一員としての自覚も生まれ、具体的な行動に結び付きかけにもなります。

働く人の声(20代男性)

実習で楽しい仕事だと思い、就職を希望しました。掃除や食事介助、排泄介助をしています。不安なことや困ったことは先輩職員に聞いています。皆さん話しやすい方ばかりです。利用者にお礼の言葉を掛けてもらうことがうれしいです。楽しく仕事を続けています。



介護用具の清掃

―事業所の概要は？
平成18年12月に高齢者福祉施設「楽々むら」を開設し、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスなどを展開し、現在では、約130人の職員が勤務しています。

―雇用了た感想は？
真面目で丁寧な仕事ぶりです。利用者との信頼関係も上手に築けています。率先して業務内容を先輩職員に尋ねることができるので、安心して業務を任せています。

障害者雇用に積極的に取り組む事業所を紹介します。

障害者支援のかたち『働く』

社会福祉法人あまのほ(城崎町楽々浦)

員2人が勤務しており、10年以上になる方もいます。公共交通機関で通勤するため、その方に合った勤務時間を設定しています。

―雇用了たきっかけは？

出石特別支援学校の実習の受け入れです。そこから「但馬障害者就業・生活支援センターリンク」などの支援を受けながら、職業準備性を高めていき、雇用につなげました。

―今後の展開は？

障害の有無にかかわらず「楽々むら」で働きたい方には、その方に合った仕事に取り組んでもらいます。ぜひ、力を貸してほしいです。

―障害者の雇用・就職などの問い合わせ

- ハローワーク豊岡 ☎ 23-3101
- 但馬障害者就業・生活支援センターリンク ☎ 37-8458
- 障害者の雇用に関する施策
厚生労働省ホームページ「障害者雇用対策」を参照
- 《問合せ》豊岡市障害者自立支援協議会事務局 ☎ 26-6060

―長く勤めてもらうには？

できることに無理のない範囲で取り組んでもらい、徐々にできることを増やしていくようにしています。何かあればすぐに他の職員が駆け付け、体制も整えています。心身の不調で休みが続いた場合には、その方に合った無理のない勤務条件について相談しています。

障害者に 関係するマーク ～第1弾～



障害者のための
国際シンボルマーク

障害のある方が利用できる建物、施設であることを表すものです。このマークは世界共通のシンボルマークです。



盲人のための
国際シンボルマーク

視覚に障害のある方の安全やバリアフリーを考慮した建物、設備、機器などに付けられている世界共通のマークです。



耳マーク

聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。

私たちの周りには、たくさんのマークがあります。ここで紹介するのは、障害のある方に関係するマークの一例です。マークを見かけた際は障害がある方への配慮をお願いします。

《問合せ》社会福祉課 ☎ 24-7033